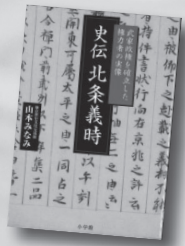




今月のおすすめ

一般
【中央】
【葦山】



史伝北条義時
山本みなみ／著
小学館

著者は現在もっとも北条義時に肉薄していると評される新進気鋭の研究者。北条氏の出自や権力掌握の真相に迫る。カラー写真、図版も満載で、大河ドラマをより楽しめる。

一般
【中央】
【葦山】



きりきり舞いのさようなら
諸田玲子／著
光文社

文政の大火で焼け出された十返舎一九一家。娘の舞を頼りに命からがら逃げ出して、北斎先生の借家で一から出直す悪戦苦闘の日々。騒動が尽きない、人気シリーズ最新刊。

一般
【中央】



世界の美しさを思い知れ
額賀滯／著
双葉社

双子の弟が自殺。同じ顔を持つ兄が、携帯の顔認証を突破すると礼文島行きの航空券が。そこに弟の死の答えはあるのか？青春小説の名手が描く「喪失と再生」の物語。

一般
【葦山】



新しい世界で -座間味くんの推理-
石持浅海／著
光文社

大学生の玉城聖子、警視庁の幹部、座間味くんと呼ばれる中年の会社員男性。不可解な話を肴に酒を酌み交わす仲の三人。盃を干すごとに推理は冴え、意外な真相が。

新着本コーナーから

- 一般 愚かな薔薇 恩田陸／著【中央・葦山】
- 一般 ひとりでカラカサしてゆく 江國香織／著【中央】
- 一般 おわかれはモーツァルト 中山七里／著【葦山】
- 一般 社会人10年目の壁を乗り越える仕事のコツ 河野英太郎／著【葦山】
- 児童 図書館図鑑 小田光宏／監修【中央】

3月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	☆
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	◇	☆
27	28	29	30	31		

○中央休館日 □葦山休館日
◇両館休館日 ☆おはなし会

3月のおはなし会

中央図書館 12日(土) 11:00 ~
 葦山図書館 12日(土) 14:00 ~
 26日(土) 14:00 ~
 ※事前申し込み不要

くぬぎ会館こども広場は中止

お知らせ

引っ越しの際は

市内で住所が変わったときは、住所変更の手続きをお願いします。利用者カードと新住所が確認できる身分証明書をご用意ください。

市外に転出するときは、利用者カードを図書館カウンターにお返しください。

そのほか、名前や電話番号が変わったときも変更手続きをお願いします。

メールアドレスやパスワードは、図書館 HP からログインすれば、自分で変更することができます。

文化財通信

その201

伊豆の国市からはじまる北条義時の足跡

第15回 北条氏鎮魂の寺、円成寺

〔最終回〕

☎ 文化財課 ☎ 055-948-1428

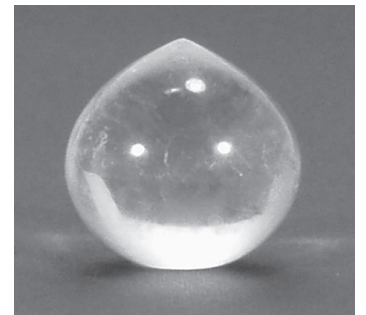
北条義時の足跡、最後に義時亡き後の北条氏についてお話しします。
 義時の子、3代執権泰時は武家政権のための「御成敗式目(貞永式目)」を定め、幕府の体制を盤石なものにしました。5代執権時頼のときには「宝治合戦」(三浦氏との戦い)、8代執権時宗のときには「元寇」(中国元朝による北九州侵攻)などもありました。また、飢饉や天災が続いたこともあり、次第に幕府の力が衰えていきました。そして正中元(1324)年からはじまる後醍醐天皇の倒幕運動に有力御家人の足利氏や新田氏が呼応し、ついに元弘3(1333)年に鎌倉幕府は滅亡しました。



▲池跡(左)と堂跡(右・礎石建物跡)

北条一族は、14代執権で最後の得宗(※)高時をはじめ、多くの人が戦死、あるいは自刃して亡くなりました。
 しかし、北条家の中で生き残った人々もいました。女性たちです。高時の母であり、9代執権貞時の妻であった円成尼(寛海円成)が、生き残った女性たちを連れ、北条氏ルーツの地である伊豆に移り、一族の冥福を祈るための寺を建立しました。この寺が「円成寺」です。円成寺は、敵方であった後醍醐天皇や足利氏からも寺領の寄進を受けるなど保護されました。
 史跡北条氏邸跡(円成寺跡)では、鎌倉時代前半の北条氏の館と重なる、南北朝〜室町時代の円成寺の跡が発掘調査で明らかになっています。とくに注目された遺構は、礎石建物の堂跡と池跡です。2つの遺構は守山の山裾に並んで造られています。尼たちはお堂から池を眺めていたのでしょうか。

円成寺跡の出土品には、寺で使われた香炉や燭台などの仏具、天目茶碗や茶臼などの茶道具があります。また、宝珠形の水晶の珠も見つかっています。水晶は仏舎利(釈迦の骨)の替わりとされ、宝珠は災難を避け、願いごとを叶える形とされています。水晶の珠は、円成寺の寺宝だったのかもしれませんが。
 円成尼亡き後、寺は伊豆国守護を務めた山内上杉氏の庇護を受け、上杉氏の女性たちが尼として寺を守っていました。しかし、中世末期には眞珠院(中條)の末寺となり、江戸時代中頃には廃寺になりました。
 長い間その場所が不明であった円成寺が、北条氏の館跡とともに発掘調査で見えられたことは、北条氏と伊豆との深いつながりを感じざるを得ません。時政・義時・泰時と受け継がれた伊豆の北条氏の足跡は、私たちの足元にも静かに眠っているのです。
 ※北条氏嫡流の家系のこと。高時は時政から9代目に数えられる。



▲宝珠形の水晶の珠